

## 協 定

平成16年1月に、熊本市と大津町、菊陽町及び水循環型営農推進協議会にて「白川中流域における水田湛水推進に関する協定」を締結し、転作田を活用した地下水かん養事業を実施してきました。

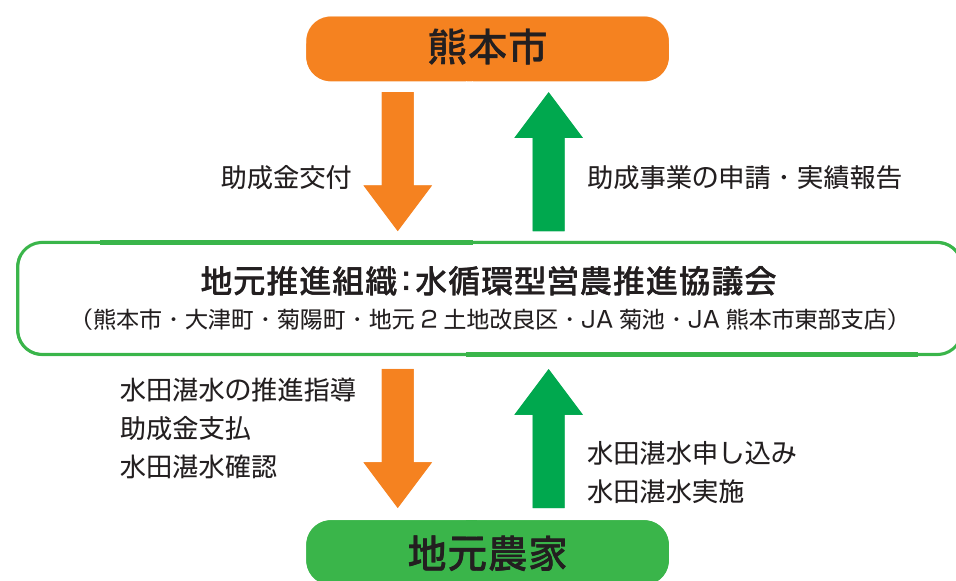
この結果、地下水の保全や住民交流に大きな成果を上げることができたことから、協定の最終年を迎える平成26年1月に、引き続き「白川中流域における水田湛水推進に関する協定」(第二次)を締結しました。今後は、この協定に基づき、これまで実施してきた水田湛水への助成をはじめ、白川中流域における農業及び地下水かん養機能の重要性に関する住民の相互理解の促進、関係地域の住民交流、環境保全型農業や農作物の地産地消の普及に加え、新たに事業者等による水田湛水への参画支援にも取り組みます。

## 事業のしくみ

この事業は、白川中流域の転作田で、営農の一環として行われる湛水に対して、熊本市が助成金を交付し、地下水のかん養を促進するものです。

事業のしくみは、まず熊本市、大津町、菊陽町、地元2土地改良区、JA 菊池、JA 熊本市東部支店で構成する「水循環型営農推進協議会(以下、協議会)」が、農家に対して転作田での湛水の普及・指導を行います(水循環型営農推進運動)。湛水が農地の地力向上や害虫の駆除など、営農上効果があるからです。この湛水が地下水かん養に大きく貢献するので、下流の熊本市が助成金を交付するものです。

具体的には各農家が協議会に湛水の申し込みを行い、協議会がとりまとめて、市に助成金交付を申請します。市は一括して協議会に対して助成金を交付し、協議会を通じて助成金が農家に支払われます。



## 交流連携

白川中流域の農業が果たす地下水かん養の重要性に関する理解を深めるとともに、大津町、菊陽町及び熊本市の相互理解と交流を促進するため、地下水かん養域である白川中流域の水田において、地元自治体等との協力連携のもと、米づくり体験や地下水に関する学習の「田んぼの学校」を開催しています。



## 水の恵みブランド

「水の恵み」は地下水かん養した白川中流域の農地で低農薬・減化学肥料栽培された安全かつ高品質な農作物で、地下水保全にも大きく貢献しています。「豊かな地下水を育むネットワーク」の会員が水張りした転作田で生産するにんじん、さといもなどは「水の恵み」のブランド名で販売されています。

また、「水の恵み」ブランドの野菜を用いた料理教室のイベントなど、生産者と消費者との交流会を実施し、地下水を育む農作物の地産地消の普及促進に取り組んでいます。



## 2013年 国連“<sup>いのち</sup>生命の水”最優秀賞受賞

熊本市は、長年にわたる市域を越えた広域的な地下水保全の取り組みが高く評価され、2013年3月「国連“生命の水(water for life)”最優秀賞」を受賞しました。

今回の受賞は市域を越えた水田湛水や水源かん養林の整備などの地下水かん養事業、市民と協力して進めている節水市民運動などの取り組みにより国内で初めての受賞となりました。

今後も熊本地域の広域的な取り組みを熊本県、熊本地域の各市町村、くまもと地下水財団等と連携しながら地下水保全活動を行っていきます。

問い合わせ先

## 熊本市 環境局 環境推進部 水保全課

TEL:096-328-2436 FAX:096-359-9945

e-mail:mizuhozen@city.kumamoto.lg.jp

web:http://www.kumamoto-waterlife.jp/

# 白川中流域水田を活用した 地下水かん養事業 世界に誇る地下水都市・熊本



くまもとウォーターライフ

検索

